



2022 年度夏！君たちの活躍に大きな拍手を送ります

部活など	氏名	大会名など	結果
陸上	3年F組 北村 はる	第65回東海陸上競技選手権大会	女子800m 第7位 2分14秒86
	3年A組 村上颯汰朗		男子400mH 出場
	1年A組 永田 夏月	知多・尾張学年別陸上競技大会(1年生大会)	男子200m 第1位 22秒71
	1年A組 榊原 竜聖		男子400m 第1位 51秒65
	1年D組 大脇 颯		男子1500m 第2位 4分29秒55
	1年D組 小川 心優		男子走高跳第1位 1m65
	1年F組 竹内 美妃		男子走幅跳第6位 5m75
	1年H組 小池里依菜		女子200m 第1位 26秒61
	1年B組 山田 衣莉		女子400m 第1位 59秒09
	1年D組 小川 心優		女子やり投げ第1位 32m44
	1年C組 兼田 弥耶		女子円盤投げ第1位 19m03
	2年F組 浜田 陽菜		女子走高跳第4位 1m30
	1年C組 兼田 弥耶		女子 4×100m リレー第5位 45秒10
	2年F組 浜田 陽菜		女子 4×400m リレー第4位 4分22秒15
	1年B組 山田 衣莉	令和4年度愛知県私学祭陸上競技大会	男子110mH 第1位 15秒78
	1年D組 小川 心優		女子1500m 第2位 4分40秒66
	1年F組 竹内 美妃		女子400m 第1位 58秒84
			女子やり投げ第5位 34m26
	水泳	2年D組 小林 花音	令和4年度知多地区高等学校学年別水泳競技大会
2年B組 中野 真綾			
1年E組 中山 夢菜		無差別女子4×50mフリーリレー 第2位 2分05秒32	
1年B組 平田 ゆり			
2年B組 中野 真綾			
3年A組 土橋 拓磨		男子100m背泳ぎ優勝 1分03秒71	
3年A組 加藤 維力		男子200m個人メドレー優勝 2分15秒45	
	男子50m自由形第2位 27秒83		

	2年D組 小林 花音	令和4年度 知多地区 高等学校 学年別 水泳競技大会	女子 50m 背泳ぎ優勝 31秒99(大会新)		
			女子 100m 背泳ぎ優勝 1分10秒75(大会新)		
	2年B組 中野 真綾		女子 200m 自由形優勝 2分37秒70(大会新)		
	2年A組 堀江 悠弥		女子 100m 平泳ぎ第2位 1分27秒84		
			男子 100m 自由形第2位 58秒56		
			男子 50m 背泳ぎ第3位 32秒34		
	1年F組 森本 健太		男子 100m 平泳ぎ優勝 1分16秒98		
	1年E組 中山 夢菜		男子 200m 個人メドレー第3位 2分39秒19		
水泳	1年B組 平田 ゆり	令和4年度 愛知県 高等学校 新人体育大会 水泳競技 知多支部予選 女子総合 第4位 54点	女子 100m 自由形優勝 1分09秒88		
	1年E組 竹田 優菜		女子 50m バタフライ第3位 33秒64		
	2年D組 小林 花音 2年B組 中野 真綾 1年B組 平田 ゆり 1年E組 中山 夢菜		女子 4×100m フリーリレー 第3位 4分44秒58		
	2年D組 小林 花音 2年B組 中野 真綾 1年E組 中山 夢菜 1年B組 平田 ゆり		女子 4×100m メドレーリレー 第5位 5分33秒34		
	2年D組 小林 花音		女子 50m 自由形第1位 28秒02(大会新)		
	2年B組 中野 真綾		女子 200m 平泳ぎ第2位 3分04秒79		
	2年A組 堀江 悠弥		男子 100m 自由形第2位 57秒72		
	1年B組 平田 ゆり		女子 200m 個人メドレー第3位 3分12秒30		
	1年E組 中山 夢菜		女子 100m 自由形第3位 1分10秒91		
	1年F組 森本 健太		男子 200m 個人メドレー第4位 2分40秒18		
	1年E組 竹田 優菜		女子 100m 平泳ぎ第4位 2分05秒87		
	国際		国際協力部 全国高等学校総合文化祭ボランティア専門部出場		
	野球		令和4年度愛知県高等学校新人体育大会知多支部予選会第5位		
	演劇部		第75回中部日本高等学校演劇愛知県知多地区大会優秀賞(県大会出場)		
			第75回中部日本高等学校演劇愛知県大会奨励賞		
	WYM プラチナ 賞受賞		Team A & 鼓山高級中学 2年F組大塚大貴 小嵯之愛 杉田梨桜 永田優杏 浜本優羽		
			Team B & シラインstitute 1E 山田維吹 1B 杉村さや 2F 森川昂哉 1H 山下央稀		
			Team C & フィリピン日系人会国際学校 3年E組 三井花凜 出口愛袈 山田虹 澤田佳怜		
和太鼓	第46回 全国高等学校総合文化祭 最優秀賞 文部科学大臣賞 東京国立劇場にて公演を行う。				
吹奏楽	2022年度 中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会 金賞 愛知県代表として本大会に進出				
	2022年度 全日本吹奏楽コンクール愛知県大会 金賞 愛知県代表選考会へ進出				
	2022年度 全日本吹奏楽コンクール愛知県代表選考会 A編成県代表に選抜(県ベスト7)				
	2022年度 全日本吹奏楽コンクール東海大会 銀賞				
ダンス	ダンススタジアム出場				

# 全国高等学校総合文化祭報告

8月2日から8月4日東京にて開催



2022年度の夏はひと際暑い夏でした。その猛暑の最中、和太鼓部が出演した郷土芸能部門は練馬区にて、国際協力部が出演するボランティア専門部は小金井市にて、それぞれの大会が開催されました。校長である私は池袋に拠点を構え、8月2日は小金井市へ、4日は練馬区へと出かけました。中日は上野周辺の美術館やホールにて写真・美術・書道・吹奏楽などの展示・大会が行われていたその様子を見学に出かけました。宿泊していたホテルは練馬区に近かったこともあり、阿波踊りで郷土芸能に出演する徳島県の高校生、「楽鼓」と同じく和太鼓で出演する岡山県の高校生がいるなど、電車や駅のいたるところに高校生と引率の先生方がいらっしや、汗をかきながら一生懸命に準備する様子が伺えました。運営に携わる東京都の高校生の姿も街の至るところにあふれている、東京という大都会が醸し出す活気とも重なり、エネルギーの感じられる大会でした。

国際協力部のメンバーは東京に着いた初日午前にはリハーサル、午後には発表というあわただしいスケジュールではありましたが、その発表は堂々たる見事なものでした。視野を世界に広げ、フェアトレードの仕組みを学び、自分たちの学校のあるこの知多地域に広げていこうとするその取り組みは、今回代表として参加した学校の中には見られない独自のアクションプランとして注目に値するものでした。この後、彼女たちは他校の生徒の皆さんと一緒にフィールドワークに取り組みます。発表に自信を得て、グループワークにも積極的に取り組む様子が本校ホームページのブログにも紹介されています。ぜひお読みください。

和太鼓部の発表は大会の最終日でした。7月31日に愛知県を出発し、緊張の日々が1週間続くこととなりますが、体調不良者を出すこともなく、無事全員で当日の晴れ舞台を作り上げました。途中、練習会場があまりに狭く困っていた和太鼓部に、自分たちの使用している広い会場を快く貸してくださった市民の皆さんがいらっしやったとのこと。「ぜひ、頑張ってください！」暖かいエールとともに、差し入れもいただきました。和太鼓部の全国大会にはこうしたエピソードが毎年いっぱい詰まっていますが、今年も素敵な人たちに出会うことができました。「多くの人に支えられてここまで来られた」その感謝の思いが会場に伝わる本当によい演奏でした。晴れて5年ぶりの日本一。東京国立劇場での演奏も素敵な舞台でした。丸山理事長も目を細めて和太鼓部の演奏に見入っていらっしやいました。



**今月の言葉** とにかくバッターボックスに立ってみる。バットを振ったら当たるかもしれない。

Just try standing in the batter's box. If you swing the bat, you might get a hit.

80歳を超えてから私の人生は変わりました。81歳で初めてゲームのアプリを作ったことで、国連本部でスピーチすることになったり、86歳でデジタル庁のデジタル社会構想会議の構成員になったり、バットを振ったら当たっちゃったんです。自分でもびっくりしています。人生はわかりませんよ。自分の未来にフタをしないこと。何歳からでも人は変わることができるから。

Don't limit your future. Because no matter how old they are, people can change. 若宮正子（87歳）さん